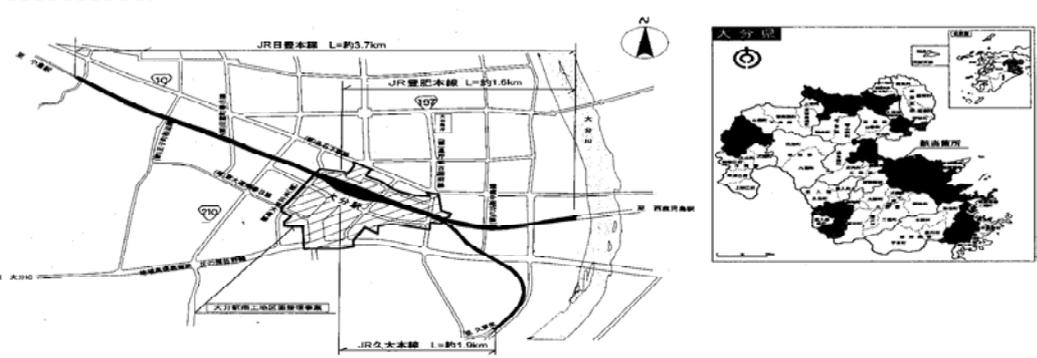


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課  
担当課長名：松谷 春敏

<b>事業名</b>	JR日豊本線等連続立体交差事業	<b>事業区分</b>	街路	<b>事業主体</b>	大分県	
<b>起終点</b>	自：大分県大分市大字生石字久保田 至：大分県大分市大字大分字川原新地	<b>延長</b>	5.57km			
<b>事業概要</b>	JR日豊本線等連続立体交差事業は、JR日豊、豊肥、久大本線の大分駅付近の5.57kmにおいて鉄道を高架化することにより13箇所の踏切を除去し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。					
H7年度事業化	H7年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H10年度工事着手			
<b>全体事業費</b>	550億円	<b>事業進捗率</b>	50%	<b>供用済延長</b>	0km	
<b>踏切遮断交通量</b>	210,252台・時/日					
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.7  (残事業)	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) / 763億円  (事業費) / 763億円 (維持管理費) / 億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) / 1,304億円  (走行時間短縮便益) / 1222億円 (走行費用減少便益) / 70億円 (交通事故減少便益) / 12億円	<b>基準年</b> 平成16年		
<b>事業の効果等</b>	大分駅付近連続立体交差事業は、道路を鉄道と立体交差化することにより、都市交通を円滑化し大分駅周辺地域の都市機能強化を図る。					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>	大分市では、連続立体交差事業とあわせ関連する都市計画道路の整備や土地区画整理事業を大分駅周辺総合整備事業として一体的に整備しており、事業の早期完成を要望している。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>	JR日豊、豊肥、久大本線と交差する都市計画道路の整備に伴う交通量の増加により、今後一層の交通渋滞が予想される。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>	一部地権者の同意が得られず交渉が難航しているため、計画どおりの事業進捗が図られていないが、高架本体工事を推進すると共に、用地残件の早期契約に向け交渉を行う。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>	一部地権者との用地補償協議が難航しているため、任意交渉と並行して収用も視野に入れた対応を行い、事業の早期完成を目指す。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>	高架橋形式について比較検討の結果、桁式に比べ経済的となるラーメン構造を採用しコスト縮減を図っている。					
<b>対応方針</b>	事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
<b>事業概要図</b>						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。